



万里一空



2024年6月3日発行

お金って！

みなさんはこれから社会に出てお金を稼ぐことになりますが、そもそもお金とは何なのでしょう？
経済学的には、お金の機能は3つに分かれるとされています。それは、「交換」「価値の尺度」「価値の保存」です。

<交換>

まだお金のなかった時代、山でウサギを狩った狩人と、川で魚を釣った漁師が直接出会い、交換をしていました。これだと肉も魚も鮮度のいいうちに出会えないと交換できないので、魚が無くて肉が欲しければ、貝殻などの腐らないものでいったん支払います。そして、肉を買った漁師は、その借りを返すべく、魚が釣れたときに狩人のところに行って、魚を渡して貝殻を回収するわけです。

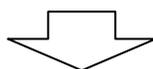
<価値の尺度>

ウサギと魚ならこれだけで良いのですが、イノシシだったらどうなのでしょう。イノシシ一頭と交換するには、魚10匹くらいは必要なんじゃないかと狩人は考えるわけです。そうすると、イノシシを受け取った漁師は貝殻10枚を支払うということになれば良いということになります。

この「価値尺度」の機能があることで、貝殻10枚のうち、5枚で魚5匹、余った5枚で米を1俵買うという、複雑な取引も可能になってきます。

<価値の保存>

貝殻で取引をすることで「お金」である貝殻そのものに価値が出てきます。これをたくさん貯めておいて、将来使うということができるようになります。これが価値の蓄積（保存）です。これによって腕の良い漁師や安定した作物が取れる地主などが出てくるわけです。



<感謝の現れ>

お金の機能から見えてくるものは、お金は人からの感謝が姿を変えたものだと思います。ウサギの肉をくれてありがとう。魚をくれてありがとう。こんな嬉しいサービスをしてくれてありがとう。そして、他の人よりも大きな価値を提供した人のところに感謝は集まり、貯まることになります。

そしてなにより働くということは、現代社会においては分業で支えあっているという意識を持たないといけません。生きていくには他人の力が必要。他人と協力しあうには、感謝や信頼が必要。お金はそうした感謝の証であって、お金を稼ぐということはサービスの提供やモノの生産など、他人に感謝されるような価値ある行為をするということです。お金を稼ぐ上で、一番重要（根本）なのは、やはり「誰かの役に立ちたい」と思う気持ちではないでしょうか。

前期中間試験始まる！（6/4一部、5~7）

高校3年生がスタートして早くも2ヶ月が過ぎようとしています。進路実現に向けた就職実務指導、小論文講座に小論文模試。これと並行して、部活動ではインターハイ地区・県予選会と充実した毎日を過ごしてきたことでしょう。そしていよいよ進路決定に大きく影響する前期中間試験。就職希望者や推薦入試対象者には選考資料として極めて重要な意味を持ちます。最後まで妥協せず、精一杯努力して試験にのぞんでください。

